



地産地消関連ビジネスの事業化を支援！ 「地産地消ビジネス創出支援事業」育成講座の受講者を募集します！

「横浜産の食材を使った銘産品、お土産を作りたい」、「市内産農畜産物の魅力を発信するサービスを通じて、地元の「おいしい」をもっと多くの人に届けたい」など、地産地消に関するビジネスの事業化を支援する「地産地消ビジネス創出支援事業」を実施します。

本事業は「育成プログラム」（1年目）と「補助プログラム」（2年目）の2つのプログラムから構成されており、今回は「育成講座（育成プログラム）受講者の募集」についてお知らせします。

地産地消の推進を通じ、ともに「横浜農場」を盛り上げてくださる方のご応募をお待ちしています。

「育成講座」受講者の募集

ビジネスプランのブラッシュアップを支援する育成講座（全5回、令和8年9月～令和9年1月）の受講者を募集します。

※育成講座終了後、令和9年2月上旬に実施する選定懇談会終了後に、補助プログラム（2年目）の対象事業の選定を行い、結果を通知いたします。

- （1）募集対象 地産地消に携わるビジネスへの参入、新規創業を考えている事業者、新規創業者、中小企業およびNPO法人
- （2）募集期間 令和8年7月28日（火）～令和8年8月30日（日）必着
（受講決定通知の発送は令和8年9月中旬頃を予定しています。）
- （3）募集人数 10名程度（応募多数の場合は選考を行います）
- （4）応募方法 横浜市電子申請システムよりお申込みください。
- （5）受講料 無料



横浜市電子申請システム

1年目
育成講座
受講無料

【参考1】地産地消ビジネス創出支援事業のプログラムについて（※）

- ・育成プログラム（1年目）では、事業者の皆様が考えるプランを6次産業や創業支援の専門家が、持続可能な事業展開が行えるようプラン作りのお手伝いをします。
- ・補助プログラム（2年目）では、育成プログラムにおける選定懇談会で高い評価が得られたプランに対し、事業開始にかかる初期費用の一部を補助するほか、専門家による起業相談等の支援も行います。

※各回の講座内容、講師のプロフィール、支援対象となるビジネスプランの要件、ビジネスプランを提出できる事業者の要件等の詳細は、横浜市のホームページをご覧ください。



横浜農場とは・・・

横浜市では、意欲的な生産者や多様な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を農場に見立て「横浜農場」としてPRしています。



裏面あり

講座のご案内はこちら



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

【参考2】補助対象に選定された新規ビジネスの例

平成26年度から実施しているこの取組により、これまでたくさんの新規ビジネスが誕生しました。
その中から、これまでの事例をご紹介します。

事業名	受講者 (敬称略)	事業内容	
朝食や防災に備蓄できる 横浜野菜たっぷりの グラノーラ作成 商品名「こめノーラ」	かわはら まゆこ 河原真友子	横浜の野菜(余剰品、規格外品)を利用し、伝統食材である焼き米と合わせて、すぐ食べられて、防災備蓄としても活用できる商品の開発。	 【こめノーラ】
野菜たっぷり・海んちょ特製 「万能味噌タレ」 臭わない！ 横浜産ジャンボニンニクのおかずMiso “横浜の恵み”の製造販売	うみ 海んちょ	横浜市内の農家から仕入れた臭いが少ないジャンボニンニクを使った「横浜産ジャンボニンニクのおかず味噌(万能味噌だれ)」の製造・販売	 【濱の恵み】
横浜竹林農場 ～横浜の新たな価値を紡ぐ、 竹林という“舞台”づくり～	いっぽんしゃだん 一般社団 ほうじんよこはま 法人横浜 ちくりんけんきゅうじょ 竹林研究所	横浜の未活用竹林を整備し、幼竹からメンマを製造するなど再利用することで、新たな「農場」を生み出し、サーキュラーエコノミーの実現を目指す。	 【一般社団法人横浜 竹林研究所】

お問合せ先

農業振興課長 澤田 Tel 045-671-2606



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

